

# 小麦情報

秋田地域振興局 農林部 農業振興普及課

No.4

Tel. 018-860-3410

Fax. 018-860-3834

## 明きよや排水溝の状況を確認し、排水対策の徹底を！

### 1 気象経過

#### アメダス大湯

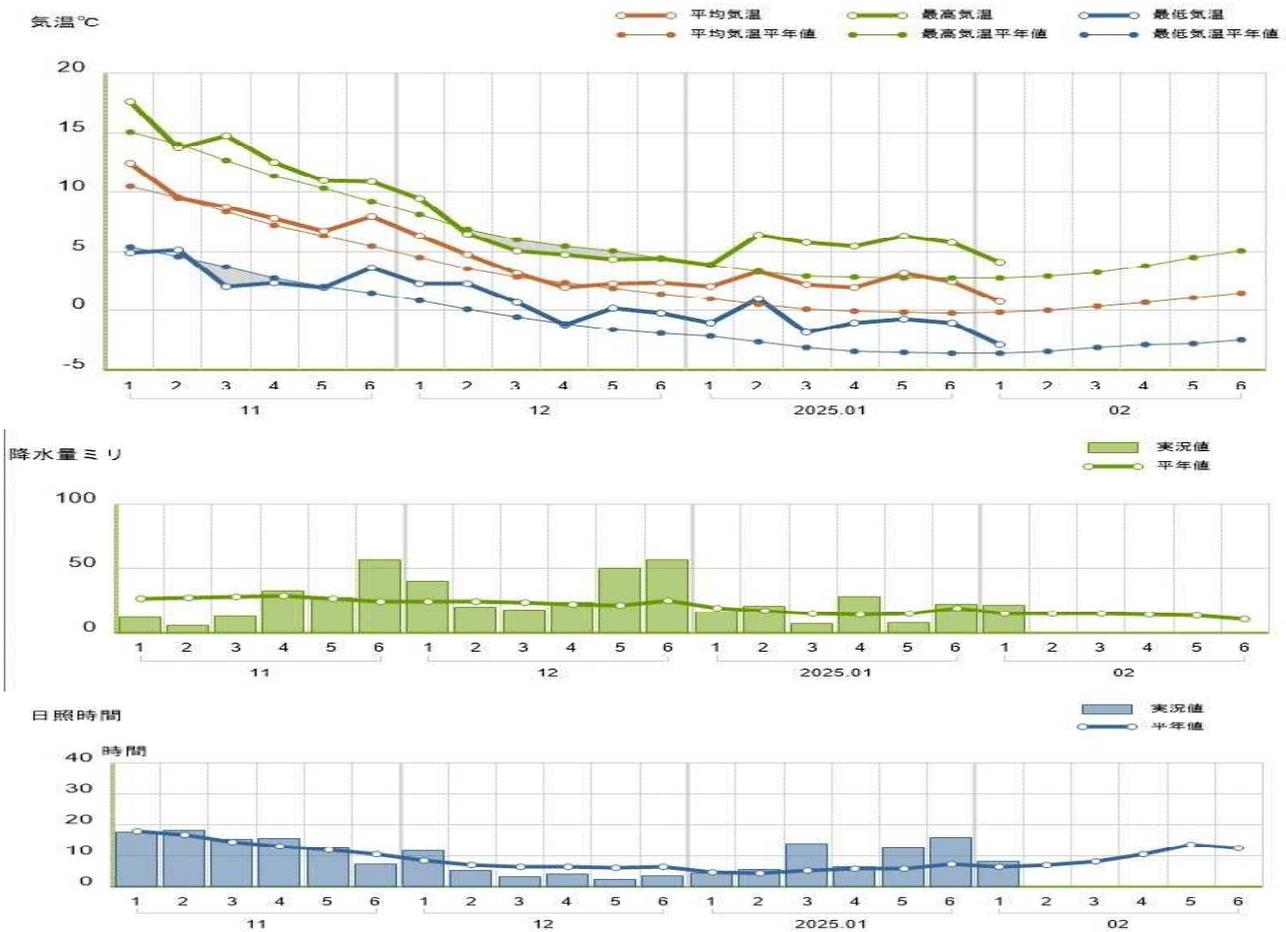


図1 半旬毎の気象経過(2024年11月～2025年2月1半旬)

#### 〈概況〉

11月～1月の気温は平年より高く、降水量は平年よりもやや多く、日照時間は平年並となりました。

仙台管区气象台より2月6日に発表された1か月予報(2/8～3/7)では、向こう1ヶ月の気温は平年並か高く、降水量も平年並か多くなる見込みです。今後は、気温が高くなる見込みのため、雪解けが早まる可能性があります。ほ場が露出すると、がん類が飛来し、食害を引き起こす可能性があるため、爆音機の設置やテグスの設置等で十分な対策を実施しましょう。

## 2 R7年産の生育状況

- ・12月1日の生育調査結果は、草丈22.2cm（過去5年平均比110%）、茎数890本/m<sup>2</sup>（同比104%）、葉数7.5葉（同差+0.6葉）となりました。播種後の気温が高かったことや連続した降雨が少なかった影響で出芽は概ね良好となり、ほとんどのほ場で越冬前の茎数を確保できていました。

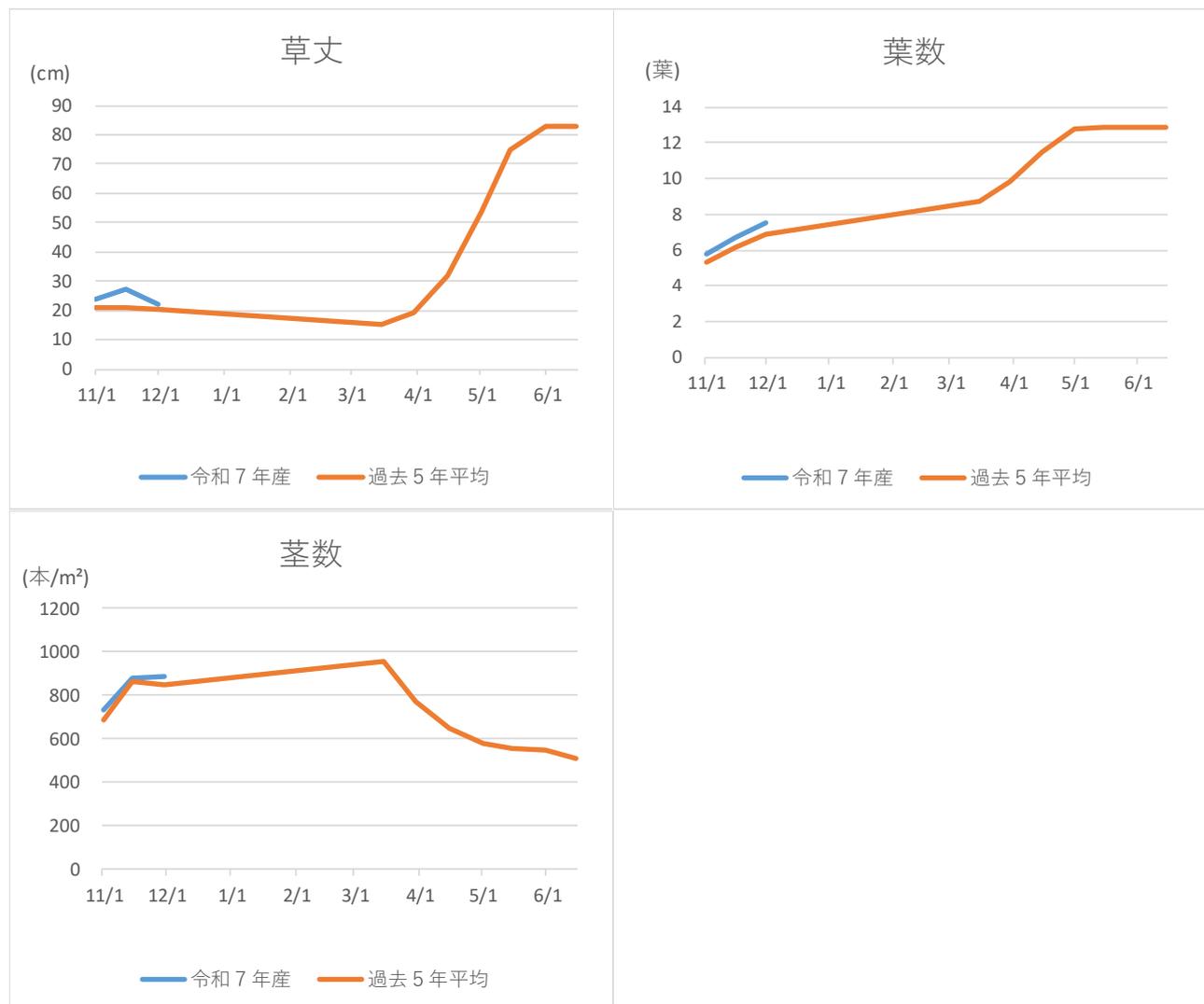


図2 令和7年産小麦の生育推移(「銀河のちから」4地点平均)(調査:大湊村農協)

## 3 当面の管理

### (1) 排水対策

- ・融雪後に明きよや排水溝の状況を確認し、溝が崩れていたり、流れが悪い場所があれば手直しをするなど排水対策を徹底してください。

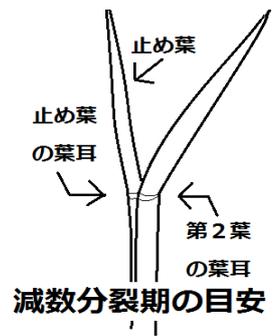
### (2) 追肥

#### ①起生期追肥

- ・起生期の追肥は、有効茎の確保に効果があります。起生期追肥では、肥効の早い硫酸を窒素成分で2kg/10a程度追肥してください。

②減数分裂期追肥（葉耳間長±0 cm）

- ・減数分裂期追肥は1粒重を増やし、タンパク質含有量を高める効果があります。葉耳間長±0 cmに達した頃（減数分裂期、出穂10～7日前）に実施します。
- ・施肥量は窒素成分で2～4 kg/10aとします。ただし、草丈が長い場合や葉色が濃い場合には、倒伏が起きないように、施肥量を調整してください。



(3) 雑草対策

- ・今年は気温が平年並～高い予報のため、雑草の発生も早まる可能性があります。ほ場の状態を確認し、必要に応じて防除を行ってください。

〈小麦栽培の除草剤〉

薬剤名	10aあたり使用量		対象雑草	使用時期	使用回数
	液剤	希釈水量			
ハーモニーDF	7.5～10g	100L	ギシギシ類 一年生広葉雑草 スズメノテッポウ カズノコグサ	節間伸長前 (3月下旬～4月上旬)	1回

※スズメノテッポウ：5葉期まで、カズノコグサ：1～3葉期まで

〈使用上の注意〉

- ア) 雑草の茎葉が濡れるように均一に散布してください。
- イ) 周辺作物へ飛散させないように注意してください。
- ウ) 散布後、完全枯死までにはほぼ1ヶ月かかります。
- エ) 散布に用いた農機具の洗浄を丁寧に行ってください。
- オ) 春散布は3月下旬～4月上旬に行ってください。